

県民の新たな健康課題へ向けた公衆衛生活動を目指して 平成28年度公衆衛生活動対策専門委員会

- 日 時 平成29年2月2日（木） 午後1時45分～午後3時10分
- 場 所 テレビ会議 鳥取県健康会館 鳥取市戎町
鳥取県中部医師会館 倉吉市旭田町
鳥取県西部医師会館 米子市久米町
- 出席者 19人
〈鳥取県健康会館〉
魚谷会長、渡辺委員長
池口・岡田・清水・瀬川・中村・中安・福永・丸瀬各委員
オブザーバー：県健康政策課がん・生活習慣病対策室 蔵内課長補佐
健対協事務局：谷口事務局長、岩垣係長、田中係長、梅村主事
〈鳥取県中部医師会館〉森尾委員
〈鳥取県西部医師会館〉能勢・辻田・吹野各委員

挨拶（要旨）

〈魚谷会長〉

皆様には、日頃から、県医師会並びに健対協事業にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。本委員会は、県民に対しての講演会、健康相談事業等を通して、色んな疾病の啓発活動が主な事業である。実際の活動は、地区医師会を中心に活発に取り組まれているので、健対協としては、引き続き、側面から支援していきたい。

また、年に1回開催している健康フォーラムの参加者がここ数年非常に少なく、今後どのようにするのか、皆様方のご意見を伺いたい。よろしく願います。

〈渡辺委員長〉

ご多忙のところ、ご参集いただき、ありがとうございます。

公衆衛生活動対策は、鳥取県医師会が公益社団

法人として、公益性の高い活動の一つとして、県民の健康増進につながる幅広い活動をこの委員会で扱っている。

健対協を通じた公衆衛生活動が、費用対効果も含めて、県民にとってより利益があって、健康の増進により役立ち、それに対するバランスのとれた事業計画についても、この会で議論をお願いしたい。また、より有益な事業が継続できるように、健対協の他の事業とも連携を図りながら続けていくためにも、活発な議論をお願いする。

報 告

1. 平成27年度事業報告及び平成28年度事業中間報告

（1）健康教育事業：渡辺委員長より報告

①健康フォーラム

○平成27年11月29日（日）倉吉未来中心「セミナールーム3」開催。聴講者30名

テーマ『怖いCOPD（慢性閉塞性肺疾患）～見

直そう肺の健康・肺の病気〜』

「COPDが死因の3位になるって本当!?—COPDにかからないために、COPDで死なないために—」

講師：鳥取大学医学部統合内科医学講座分子
制御内科学教授 清水英治先生

「タバコが美味しくて、COPDになってもやめられない仕組み—ニコチン依存症—禁煙成功のポイントはこちら」

講師：河本医院 院長 河本知秀先生

共催：鳥取県医師会・鳥取県中部医師会・鳥
取県健康対策協議会

当日、検査機器の業者の協力により希望者に
肺年齢測定を行い、好評であった。

○平成28年11月20日（日） 鳥取大学医学部記念
講堂開催。聴講者48名

テーマ：再生医療の未来～米子東高OBの研究
者が再生医療について熱く語る～

「肝疾患治療用細胞シートの開発」

講師：鳥取大学大学院医学系研究科 遺伝子
医療学部門教授 汐田剛史先生

「患者さんまで届き始めている鳥取大学病院の
再生医療の現状と課題」

講師：鳥取大学大学院医学系研究科 再生医
療学部門教授 久留一郎先生

「iPS細胞の骨・軟骨疾患への応用」

講師：京都大学ウイルス・再生医科学研究所
組織再生応用分野教授

戸口田淳也先生

共催：鳥取県医師会・鳥取県健康対策協議会

②日本海新聞健康コラム「保健の窓」を平成27年
度は24回、平成28年度は1月現在で20回掲載し
た。

公開健康講座の講演内容について掲載してい
る。

③日本海新聞健康コラム「健康なんでも相談室鳥
取県医師会Q&A」を平成27年度は27回、平成

28年度は1月現在で20回掲載した。

一般の方から疾病に関する質問を受付、それ
に対する回答を掲載している。

④鳥取県医師会公開健康講座、生活習慣病対策セ
ミナー

毎月1回、鳥取県医師会公開健康講座実施。
なお、鳥取県の委託事業である「生活習慣病対
策セミナー」については年12回で、鳥取県医師
会公開健康講座のうち6回を生活習慣病セミナ
ーにあて、3地区においても2回ずつ同様のセ
ミナーを実施。

(2) 地域保健対策：岡田委員より報告

平成27年度より、新たに鳥取大学医学部消化器
内科 松本和也先生を中心にして「鳥取県におけ
る膵臓癌の実態調査」を行っている。

膵臓による死亡者数は、臓器別では2014年に肝
細胞癌を抜いて第4位と増加傾向である。

鳥取県・島根県のがん死亡率は全国平均よりも
高く、中でも山陰両県の女性における膵臓癌の死
亡率は、がん部位別死亡率（2005年～2011年、75
歳未満年齢調整死亡率、10万人対）で頻回に上位
に位置していることから、平成27年度に県内11病
院を対象として、膵臓癌患者に対して、①病理学的
エビデンスの取得率、②膵腫瘍組織型、③浸潤性
膵管癌のStage、治療方針、治療経過などを調査
したところ、エビデンスがない治療方法が実施さ
れているケースがあることが分かってきた。

よって、平成27年～29年度の膵臓癌患者に対し
て、鳥取県における膵臓癌診断の実態を明らかに
し、エビデンス取得率に変化があったかを検証
し、どのような対策が鳥取県の膵臓癌患者の予後お
よびQOL改善にとって有効かを具体的に検討す
ることとしている。

池口委員からは、膵臓癌は、非常に早期発見が
難しく、手術適応の症例が少なく、予後の悪いが
んである。消化器内科で使われている超音波内視
鏡検査で小さいがんが発見されているということ
で、各病院で積極的に導入されており、県内の主

要な病院の足並みを揃えていく必要があると思っている。鳥取大学医学部の磯本教授にもお願いして、消化器内科で肝胆脾をされる医師が少ないので、専門の医師を養成していただくようお願いしているところであるという話があった。

（３）生活習慣病対策事業

①地区における健康教育

〈東部医師会（福永委員）〉

1. 東部消防局を会場にして救急医療講習会を平成27年6月12日と平成28年6月17日に開催した。
2. 鳥取市市民健康ひろばにて、平成27年11月23日と平成28年11月26日に鳥取市立病院医師による健康相談を行った。
3. 東部医師会健康スポーツ講演会を平成27年6月12日と平成28年2月4日に開催した。平成28年度は、平成28年6月17日と平成29年3月22日開催予定である。

学校、スポーツ指導者関係者が多数参加しており、毎回、好評である。

4. 各会員による健康教育講演は、平成27年度は48回、平成28年度は12月末で33回行った。

〈中部医師会（森尾委員）〉

1. 「住民健康フォーラム」を平成27年度は6月14日に「怖い熱中症！どう対処する!？」をテーマに開催し、参加者は46名であった。また、平成28年度は7月10日に「運転中におきる心臓と脳の病気って？—交通事故との関係から—」をテーマに開催し、参加者は39名であった。
2. 各会員による健康教育講演は、平成27年度は49回行い、平成28年度は29回計画している。

がん予防の話や、学校において児童、生徒を対象に禁煙防止教育を中心に行っている。

〈西部医師会（吹野委員）〉

1. 健康教育講座を平成27年度は米子市内の公民

館で20回、境港市で15回行った。平成28年度は12月現在で米子市内の公民館で17回、境港市で14回行った。

2. 毎月第3木曜日に米子市文化ホールで「一般公開健康講座」を行っており、平成27年度は12回、平成28年度は12月現在で9回開催されている。
3. 各会員による健康教育講演は、平成27年度は80回、平成28年度は集計中である。
4. 中海テレビで医師の出演による「健康プラザ（5分番組）」が放送されている。

西部医師会主催で開催されている「一般公開健康講座」は、受講者80～110名と多く参加されている。3回分の予定をまとめて掲載したパンフレット、チラシを作成し、医療機関に配布し、広報を行っている。また、10回受講した方は、表彰することとしており、それを楽しみに参加している方が多い。

各地区の医師会員が地域、学校において住民のために、それぞれの希望に沿ったテーマで健康教育活動を献身的に多く行われている。

②健康医療相談

鳥取県健康会館において、面談による健康医療相談を毎月第1～4木曜日に行っている。第1木曜日は精神科、第2及び第4木曜日は内科、第3木曜日は整形外科で実施している。

平成27年度は68件、平成28年度は1月現在で38件の相談があった。

医事紛争に発展しそうな事案はあったかという質問があったが、担当されている岡田委員、清水委員からは、特に問題となるような相談はなく、相談者に、病気への理解の仕方、診療の仕方について丁寧に説明し、医療機関にきちんと雇っていただくよう話をしているとのことだった。

協 議

1. 平成29年度事業計画（案）：渡辺委員長より 説明

（1）健康教育事業

①健康フォーラム

新日本海新聞社の特別後援により、開催地の医療機関に協賛広告のご協力をお願いし、イベント案内を紙面で広報していたが、費用負担が大きいこともあり、平成25年度より新日本海新聞社の特別後援はお願いしないこととなった。

よって、平成26年度より県委託事業予算を元に、鳥取県医師会・地区医師会・鳥取県健康対策協議会の共催で規模を縮小して開催を行った。チラシを作成し、県内医療機関、各市町村等を通じて県民への広報を行った他、県医師会ホームページにもイベント案内を掲載したが、聴講者が年々減少している。各地区持ち回り開催としており、平成29年度は東部で開催予定であるが、実施するか。また、今後の方向性について検討を行った。

以下の意見があった。

予算をかけない方法の中で、県民の方に情報提供して参加してもらうには、同様な講演会が多く行われるようになり、多数の方に参加してもらう従来のやり方には限界があるのではないかと。また、本会としては当初の目的は果たすことがで

き、発展的に一旦は解消し、健対協としては地区医師会で行われている講演会等についてより支援を行ってはどうか。

健康フォーラムに代わるものとしては、県医師会主催の医学会と合わせて市民公開健康講座を行う等の、新たな視点で企画を検討してはどうか。

協議の結果、健康フォーラムは、本会としては当初の目的は果たすことができ、発展的に一旦は解消することとなった。よって、平成29年度は開催しないこととなった。

②日本海新聞健康コラム「保健の窓」を年間25回掲載続行予定。

③日本海新聞健康コラム「健康なんでも相談室鳥取県医師会Q&A」を木曜日（月2回～3回）に掲載続行予定。

④鳥取県医師会公開健康講座、生活習慣病対策セミナー継続開催。

（2）地域保健対策

「鳥取県における肺癌診療の実態調査」継続実施。

（3）生活習慣病対策事業

地区医師会の健康教育、健康医療相談を継続実施。

鳥取県健康対策協議会のホームページでは、各委員会の概要、委員会記録、出版物、従事者講習会から特定健診の情報まで随時更新しています。

なお、鳥取県医師会ホームページ（<http://www.tottori.med.or.jp>）のトップページ右領域のメニュー「鳥取県健康対策協議会」からもリンクしています。

→「鳥取県健康対策協議会」

<http://www.kentaikyuu.tottori.med.or.jp>

